

令和元年度 事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 15 日

事務事業名		外国語指導助手招致事業 (JET-ALT)				事業区分		担当		
						新規/継続	新規	事務事業No.	020101001019	
		政策体系上の位置付け				単独/補助	補助	所属課	090101	
政策体系	総合計画の施策名	0201 学校教育の充実				主要事業	対象外	グループ	学校教育課	
	政策名	02 生きがいを育む学びのまちづくり				市長マニフェスト	対象外		企画・適正配置グループ	
	施策名	01 学校教育の充実				未来PJ事業	対象外			
	手段名	01 ①教育内容の充実				合併建設計画事業	対象外			
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	10	01	02	00	00	単年度繰返し (令和元年度~)			
法令根拠	外国語指導助手任用規則					期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
JETプログラムを活用して、外国語授業に携わる外国語指導助手 (ALT) を招致して、学校や教育委員会に配属し、外国語教育の充実を図る。市では、ALTに対する教育の指導や生活の支援を行う。 ※平成30年5月フィリピン国カヴィテ州バコール市と友好交流都市協定を締結したことから、招致国をフィリピンとし、8月より学校に配属する。	①来日前の事務 1. JET参加者への通知 2. 入国手続 3. 渡航等の事務 4. 会費・保険・負担金の納入 5. 住居等の手続 ②来日直後の事務 1. 同意書・任用規則の交付・署名 2. 住居地の届出 3. 健康保険・厚生年金被保険者資格届 4. 租税条約に関する届出書 ③任用期間中の事務 1. 勤務評定 2. 再任用の確認 3. 再任用を希望する場合、それに関する事務 ④任用終了後の事務 1. 各種届出書及び帰国に関する事務

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・JET-ALTの招致に係る事務 ・ALTに対する教育の指導や生活の支援を行う。	外国語指導助手 (JET) 人数	人	0.00	0.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
小学生・中学生・義務教育学校生	市内児童生徒数	人	0.00	0.00	2,953.00	2,900.00	2,850.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度
英語に慣れ親しみ、積極的にコミュニケーションを図ることのできる能力を養う	授業を楽しみにしている児童生徒	%	0.00	0.00	95.00	95.00	96.00
	英語でのコミュニケーション能力が向上している児童生徒	%	0.00	0.00	78.00	78.00	80.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	29年度	30年度	01年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	1,040	0
	一般財源	千円	0	0	8,928	0
	事業費計 (A)	千円	0	0	9,968	0
正規職員従事人数	人	0.00人	0.00人	2.00人		

30年度事業費 実績 (千円)

01年度事業費 予算 (千円)

事業費の内訳	30年度実績	01年度予算
01 報酬		6,150
04 共済費		672
09 旅費		438
11 需用費		70
12 役務費		52
14 使用料及び賃借料		1,930
18 備品購入費		60
19 負担金補助及び交付金		596
合計	0	9,968

(4) 当該年度の実施内容

01年度の事業内容

02年度の事業内容

03年度の事業内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する			
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 	→		

事務事業名	外国語指導助手招致事業 (JET-ALT)	事務事業No.	20101001019	所属課	学校教育課
-------	-----------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成29年度から、ICT技術を活用した英会話交流事業をフィリピン国バコール市と行い、平成30年度には、友好交流都市協定を締結したことから、JETプログラムを活用して、同市からALTを招致する事となった。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 学校側から、ALTが増えることは今後の英語教育に役に立つことであると伺っている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 園児・児童が英語に触れたり慣れ親しむこと、生徒が積極的にコミュニケーションを図れる能力を養うことは、国際社会に対応できる児童生徒の育成に結びつく。国際理解教育は学校教育の充実にも結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 児童生徒に英語力の向上、国際社会を生きるため資質や能力を養わせることは市の責務である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 外国語指導助手派遣事業(インタラック)とJETプログラム(ALT)の併用で行っていくが、初年度となることから、今後の融合に向上余地がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 英語力の向上、国際理解教育の充実が図れない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 外国語指導助手派遣事業(教育指導課) <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 外国語指導助手派遣事業(インタラック)とJETプログラム(ALT)の併用
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 外国語指導助手派遣事業(インタラック)とJETプログラム(ALT)の併用をJETプログラムに絞れば削減できるが、成果が下がることが予想される。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である この事業は、市内の全ての公立学校、幼稚園を対象としているため、公正公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) これまで、外国語指導助手派遣事業については、インタラックへの委託事業で、6名のALTで対応し、一定の成果を上げてきた。今後JETプログラムとの併用で行っていくことになるが、諸々の面で配慮が必要となってくる。JET-ALTの生活面の支援を含め、独自採用となるので、コーディネーターとともに最良となるよう努めていくことが重要である。
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 成果 向上 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 低下 <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 英語教育の充実を実現するため、外国語指導助手派遣事業(インタラック)とJETプログラム(ALT)の併用で行っていくが、初年度となることから、今後の融合に向上余地がある。 コスト面のみを考えれば、交付金制度のあるJETプログラムに切り替えることも考えられるが、成果を向上させるには、現在の委託業者との併用を進めていくことが、現時点では最良である。	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ① コスト削減優先度評価結果 -

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------